

心の輪33R



『自由の意味』という資料を通して、
「自由を守るために大切なこと」を考えました！



『自由』は『好きなことができる』
など、自分たちにとって良いイメージ
がある一方、『人によって言葉の受け取
り方が違う』など、『自由』だからこそ
の難しさがある。外部の圧力などに囚
われない『真実を読みとる力』を養う
ためにはどうすればいいのだろう？



異物を混入させずにあり得ない敵をつくらないためには、まず、伝
える側は、自分の本音を偽りなく伝えることが大切だと思う。そして、
捉える側は、伝えた側の本音の本気で捉えようとするのが大切だと思
う。この両者が心と心で向き合うことが、あり得ない敵をつくらな
いヒントだと考える。

私がこの時間を振り返って学んだことは、異物を混入させないため
には、人との意見交換が大事ということや、自分が感じていることを
正しいと思込まないことが大切ということが分かった。

人は一人ずつ考え方や捉え方が違うのだから、ぶつかり合って、交
換し合って、分かり合っていかなければいけないと思う。そこから生
まれた対立などは、争った後に見返りや同情を求めずに、割り切って
自分の自由を広めていかなければいけないのかなと思った。

これから生きていく中で、色々な意見の食い違いが出てくると思
うけど、自分の感じていることを正しいと思わずに、色々な意見を聞く
ことは大切だと思う。

世界人権宣言 (抜粋)

【前文】

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎であるので… (以下略)

【第一条】

すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

【第二条】

1 すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。(2以下略)

「……人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」世界人権宣言、第一条の文言である。

ここで述べられていることが達成できれば、どれだけ世の中が明るくなることだろう。近い将来、私たちが社会の担い手となる。差別や偏見を憎み、それを断固として許さないという強い思いを、自分の中に、そして社会全体に育てていきたい。



文部科学省資料
『私たちの道徳』(P.161)より引用

自分の意見が正しいと思い込んでしまうと相手と違う意見で対立してしまふことがあるかもしれないなと思った。色々な見方をし、意見交換をして、相手の考えていることと自分の考えていることに向き合いたいと思いました。

人はそれぞれ違う意見を持っている。その意見は、色々な偏見から出てくると思う。本当のことを知るためにも、意味を伝え、受け取る側は、裏に隠れている本当のことを素直に捉え、読み取ることが大切だということが分かった。

自分と違う意見を批判するだけではなく、相手のことをよく知り、相手のことを考えてから発言したらいいと思った。